

損保ジャパンのみなさんに訴えます。 小畑さんの再雇用実現を！

今年3月小畑裕久さん（大阪SC第一業務部火新第二SC課）が定年を迎えました。定年を迎えるに際し、小畑さんは会社に再雇用を求めました。しかしながら会社は納得いく理由を示すこともなく再雇用を拒否したため、3月末で退職することとなりました。

小畑さんは日産火災で27年間、損保ジャパンで11年間、合計38年間損害調査の最前線で懸命に頑張ってきました。

特に阪神大震災のときには、日産火災対策室のキーマンを務め、円滑な支払いの中心となって活躍しました。

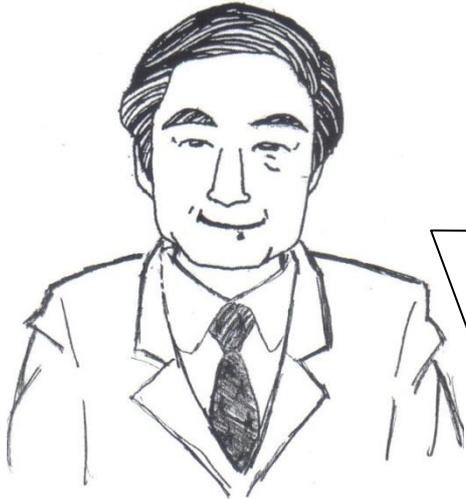
損保ジャパンでも、小畑さんがSCの担当で安心だからといって、契約獲得や継続・拡大を積極的に取り組んでいる代理店さんも数多くおられます。職場の仲間や代理店からも信頼を得てきていました。彼を知る職場の多くの人からは、残ってほしいという声が寄せられました。

また、小畑さんは全損保・損保ジャパン支部中部京阪神分会書記長として、職場で退職強要やパワハラを受けた仲間の相談に乗り、誇りをもって安心して働ける職場にしたいと奮闘してきました。

この職場を、安心して働き続けられる職場に！！

小畑さんは損保ジャパンを安心して働き続けられる職場にしたいと、会社に再雇用を求めることを決意しました。

私たちはその想いに応えたいと思い、「小畑さんの職場復帰を実現する会」を結成しました。みなさんのご理解・ご支援をお願いいたします。



たくさんの方があって、まだまだ損保ジャパンのみなさんと一緒に働きたいし、お役に立ちたいという思いも強かったので、大変残念です。多くの代理店のみなさんにご心配をおかけし、応援もしていただきましたが、会社には受け入れられませんでした。

これからは、会社の外からの立場ではありますが、私の再雇用の実現を目指すとともに、職場の仲間の方のお役にたてるよう力を尽くしていきたいと思っています。

4800人の人員削減政策の中で、今までも行われてきたような、強引な退職強要で不本意な退職者を出さないためにも、誇りを持って、安心して働ける、より良い会社となるためにも、みなさんといっしょにがんばっていきたいと思います。

よろしく申し上げます。(小畑裕久)

私たちも同じ損保業界に働く者として「小畑さんの職場（損保ジャパン）復帰を実現する会」に集い、小畑さんのたたかいを支援していくことを確認しました。損保産業は自由化以降、メガ損保の寡占化により、今まで以上に合理化がすすめられようとしています。各社とも店舗を大幅に削減し、賃金の切り下げをはじめとする人事制度の改悪や、処遇はそのままで、総合職の仕事を一般職に求めるなどの労働強化が行われています。NKSJ ホールディングスの4800人の人員削減に代表される人員削減競争が全社で展開されようとしています。

小畑さんのこのたたかいは、小畑さん一人の問題ではありません。一人一人の従業員を大切に、安心して働ける職場を実現するとともに、誇りを持って働ける損保産業にしていく取り組みと考えています。

《小畑さんの職場（損保ジャパン）復帰を実現する会》